

令和5年度

## 事務事業評価シート

## 【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
01	02	01	05	124070	市有財産適正管理事業費	
総合計画	分野	05 行政経営	政策	02 持続可能で健全な財政経営		
	施策	03 市有財産の適正な管理				
目的	持続可能で健全な財政運営のため、市有財産の適切な維持管理と有効な活用を図る。					
対象	市有財産					
意図	財産収入の増及び維持管理経費の削減のため、未利用市有財産の活用及び削減を図る。					
事業概要	<p>○公共施設マネジメント計画の推進 3,420千円 公共施設マネジメント計画【基本方針編】の改訂</p> <p>○市有財産の最適利用 61,506千円（うち繰越明許費 16,610千円） 未利用市有財産の売却に向けた土地の測量 旧まん福跡地広場の整備 大迫、石鳥谷、東和地域の公共施設解体実施設計 東和田瀬地区の公共施設解体</p>					
市民参画の有無	無					
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定	後援・協賛	補助・助成	
	活動指標		単位	区分	R04 R05 R06	
1	未利用普通財産の公売公募件数		件	計画	8.00	9.00
				実績	0.00	5.00
2	未利用普通財産の貸付件数（土地建物有償分）		件	計画	32.00	32.00
				実績	36.00	40.00
3				計画		
				実績		
成果指標			単位	区分	R04 R05 R06	
1	未利用普通財産収入（土地建物の売払及び貸付）		千円	目標	43,183.00	38,738.00
				実績	121,095.0	22,576.00
2				目標		
				実績		
3				目標		
				実績		
成果指標の達成度		目標値より高い		概ね目標値どおり	○	目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）	
利活用の予定のない市有財産は、土地の測量により適正な価格を設定し、売却するとともに貸付を行い、遊休財産の有効活用に努めた。	
目的妥当性	公共開与の妥当性
	<input type="radio"/> 妥当である
	見直し余地がある
	妥当でない
有効性	成果の向上余地
	<input type="radio"/> 向上余地がある
	向上余地がない
効率性	事業費・人件費の削減余地
	事業費の削減余地がある
	人件費の削減余地がある
	<input type="radio"/> どちらも削減余地がない
公平性	受益と負担の適正化余地
	受益機会の見直し余地がある
	費用負担の見直し余地がある
	<input type="radio"/> 適正である
総合評価	今年度の振り返り
	公共施設マネジメント計画【基本方針編】は、数値目標などの項目を追加し、改訂を行った。また、「まん福」跡地は整地等を行い広場として整備した。用途廃止した施設は、解体工事や解体工事等に係る実施設計を行い、適切な管理等に努めた。 老朽化した設備の改修・更新等を行い、長寿命化に努めた。
	次年度に向けて
	引き続き、利活用の予定のない市有財産については、適切な価格での売却及び土地貸付により、財産収入の増と維持管理コストの削減に努める。 花巻市公共施設マネジメント計画【基本方針編】を着実に実施するため、花巻市公共施設マネジメント計画【実施計画編】第2次を策定する。

令和5年度

## 事務事業評価シート

## 【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名		
01	02	01	05	124080	庁舎設備等改修事業費		
総合計画	分野	05 行政経営	政策	02 持続可能で健全な財政経営			
施策	03 市有財産の適正な管理						
目的	庁舎を安全安心に使うため、老朽化した設備等の改修を行い、長寿命化を図る。						
対象	本庁舎及び3総合支所						
意図	設備等の改修により、庁舎の安全確保と省エネルギー化を図り、適切な維持管理を行う。						
事業概要	<p>○本庁舎設備改修事業 5,115千円 本館 地下厨房改修工事実施設計、受変電設備改修工事等資料作成業務、受変電設備改修工事実施設計 、駐輪場移転新設工事実施設計</p> <p>○総合支所改修事業 49,676千円 大迫総合支所 空調設備改修工事基本設計、庁舎照明設備LED化修正設計及び改修工事 石鳥谷総合支所 空調設備改修工事基本設計、複合防災盤更新 東和総合支所 電話交換設備更新</p>						
市民参画の有無	無						
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定	後援・協賛	補助・助成		
	活動指標		単位	区分	R04 R05 R06		
1	設備改修（改修工事及び設備更新等業務）		件	計画	2.00	3.00	
				実績	2.00	3.00	
2				計画			
				実績			
3				計画			
				実績			
成果指標				単位	区分	R04 R05 R06	
1				目標			
				実績			
2				目標			
				実績			
3				目標			
				実績			
成果指標の達成度		-	目標値より高い	-	概ね目標値どおり	-	目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）	
事業内容が既存設備の改修を行うものであることから、成果指標の設定にはなじまないため。	
目的妥当性	公共関与の妥当性
<input type="radio"/> 妥当である	市有財産に関することであり、市が主体的に取り組む事務事業である。
見直し余地がある	
妥当でない	
有効性	成果の向上余地
<input type="radio"/> 向上余地がある	最新の設備を取り入れることにより、効率化を図る。
向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地
	事業費の削減余地がある
	人件費の削減余地がある
	<input type="radio"/> どちらも削減余地がない
公平性	受益と負担の適正化余地
	受益機会の見直し余地がある
	費用負担の見直し余地がある
	<input type="radio"/> 適正である
総合評価	今年度の振り返り
	市有財産に関することであり、特定の者を受益者としないことから公平適正である。
	市有財産に関することについて、最新の機器に改修若しくは更新することにより、より効果的な施設とすることができた。更に施設の長寿命化が図られ、行政コストの削減につながった。
	次年度に向けて
	引き続き、各庁舎の設備等について、最新の機器に改修若しくは更新することで、より効果的な施設としていく。更に施設の長寿命化を図り、行政コストの削減につなげていく。